

歯科保存学 1

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小方 頼昌 (歯周治療学) |

| | |
|--------------|--|
| 学修目標 (G I O) | <p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p> |
| 評価方法 (E V) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保存総論（平常試験を1回実施し、再試は行わない） 2. 保存修復学（平常試験を4回（前期2回、後期4回）実施し、成績評価の60%とする。再試験は行わない。実習は、実習作製物の評価（60%）、実習ポスト試験成績（10%）、実技試験（10%）および実習口頭試問（2回実施、20%）を総合的に評価し成績評価の40%とする。 3. 実習ポスト試験の再試験は行わない。 4. 歯内療法学（平常試験4回、実習）の総合評価とする。平常試験は、原則的に再試験を行わない。 5. 歯周治療学（平常試験（実習実技試験を含む）を3回実施し、再試は行わない） 6. 1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。 |

保存学総論

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小方 頼昌 (歯周治療学) |

| | |
|----------------------|--|
| 学修ユニット学修目標 (G I O) | <p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p> |
| 担当教員 | 岡田 裕之、玉村 亮、齋藤 真規、續橋 治、平山 聡司、松島 潔、小方 頼昌 |
| 教科書 | 1~2年次の組織学、細菌学（微生物学）の教科書 |
| 参考図書 | 1~2年次の生化学、生理学、免疫学の教科書 |
| 実習器材 | 特になし |
| 評価方法 (E V) | 平常試験を1回実施する。再試は行わない。 |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | 担当教員にメールで質問をするか、アポイントを取る。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|---|------|
| 2016/04/07 (木) 4時限 14:40~16:10 | 総論講義①：歯・歯髄・歯周組織の構造・機能 | <p>【授業の一般目標】 歯の治療ができるようになるため、象牙質・歯髄の発生・構造・機能について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①象牙質・歯髄の構造と機能について説明できる。 2. ②象牙質・歯髄の発生について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 象牙質・歯髄の発生と組織構造について説明できる。 2年次組織学教科書「エッセンシャル 口腔組織・発生学」（西村書店）P. 84-111を熟読すること（目安時間60分）</p> | 玉村 亮 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|-------|
| 2016/04/07 (木) 4時限 14:40～16:10 | 総論講義①：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能 | <p>【学修場所・媒体等】 黒板，スライド，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯（乳歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p> | 玉村 亮 |
| 2016/04/14 (木) 3時限 13:00～14:30 | 総論講義②：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能 | <p>【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、エナメル質，歯槽骨および歯根膜の構造について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の構造について説明できる。 2. 歯槽骨と歯根膜の構造について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 エナメル質の構造が列挙できる。 歯槽骨と歯根膜の構造を列挙できる。 2年次「組織・発生学」の教科書「エッセンシャル 口腔組織・発生学」（西村書店）P.75-83, 120-139を熟読すること（目安時間90分）。</p> <p>【学修場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成（根尖歯周組織、辺縁歯周組織） f 歯根膜の感覚 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 オ セメント質 キ 歯根膜 <歯周靭帯> ク 歯槽骨</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p> | 岡田 裕之 |
| 2016/04/21 (木) 3時限 13:00～14:30 | 総論講義③：う蝕 の細菌学 | <p>【授業の一般目標】 う蝕に関与する微生物と発症機序について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕原性細菌の種類と性状を説明できる。 2. う蝕の発症メカニズムを説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 う蝕原性細菌を説明できる。（準備学習時間60分）</p> | 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|-------|
| 2016/04/21 (木) 3時限 13:00~14:30 | 総論講義③：う蝕の細菌学 | <p>【学修場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |
| 2016/04/28 (木) 3時限 13:00~14:30 | 総論講義④：歯周病の細菌学 | <p>【授業の一般目標】 歯周病の特徴とそれに関与する微生物を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病原細菌の特徴を説明できる。 2. 各種歯周病に関連する微生物を理解する。</p> <p>【準備学修項目】 歯周病原細菌について説明できる。（準備学習時間60分）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |
| 2016/05/06 (金) 3時限 13:00~14:30 | 総論講義⑤：感染と免疫機構 骨代謝 歯周病と全身疾患 | <p>【授業の一般目標】 生体防御機構を説明できる。 骨形成と骨吸収の関係を理解する。 歯周病と全身疾患の関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 免疫機構の概要を説明できる。 2. 免疫担当細胞の機能と連携を説明できる。 3. 骨のリモデリングと全身および局所因子による調節機構を説明できる。 4. 歯周病と全身疾患の関係を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 免疫担当細胞の種類と働きを予習する。骨代謝の全身および局所因子を予習する。（目安時間 60分）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、板書、プリントおよびパワーポイント</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 コ 歯周病と全身疾患との関わり</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織（上皮組織、結合組織、筋組織）【神経組織の構造</p> | 小方 頼昌 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|---|-------|
| 2016/05/06 (金) 3時限 13:00~14:30 | 総論講義⑤: 感染と免疫機構 骨代謝 歯周病と全身疾患 | と機能はC-2-3)-(5) 神経系の項を参照】 *⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 | 小方 頼昌 |
| 2016/05/06 (金) 4時限 14:40~16:10 | 総論講義⑥: 痛みの伝達 | 【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの伝達を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。 【準備学修項目】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/05/12 (木) 4時限 14:40~16:10 | 総論講義⑦: 口腔粘膜と唾液腺 | 【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、口腔粘膜および唾液腺の発生および構造について習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜の基本的な構造について説明できる。 2. 口腔粘膜の機能的分類と特徴について説明できる。 3. 唾液腺の種類と構造を理解する。 4. 唾液腺の発生を理解する。 【準備学修項目】 口腔粘膜の基本的な構造を列挙できる。 口腔粘膜の機能的分類と特徴を列挙できる。 唾液腺の種類と構造を列挙できる。 唾液腺の発生を列挙できる。 2年次「組織・発生学」の教科書「エッセンシャル 口腔組織・発生学」(西村書店) P. 149-174を熟読すること (目安時間90分)。 【学修場所・媒体等】 プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 イ 固有口腔 ウ 口蓋 エ 舌 オ 口 {腔} 底 | 岡田 裕之 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---|
| 2016/05/12 (木) 4時限 14:40～16:10 | 総論講義⑦：口腔 粘膜と唾液腺 | キ 頬 ク 口唇 4 歯・歯周組織の構造と機能 カ 歯肉 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 イ 顎、口蓋 エ 唾液腺 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(1) 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)【神経組織の構造と機能はC-2-3)-(5)神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 | 岡田 裕之 |
| 2016/05/26 (木) 3時限 13:00～14:30 | 総論講義⑧：痛み の伝達 | 【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みを伝達を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。 【準備学修項目】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/05/27 (金) 3時限 13:00～14:30 | 平常試験(総論1) ：総論講義①～⑧ の範囲 | 【授業の一般目標】 歯科の2大疾患疾患であるう蝕と歯周炎の治療を行うために、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の目的を修得し、基礎教科との関連性を学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 保存学の基礎となる解剖、組織、細菌学を復習し、理解する。 【準備学修項目】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。(目安時間 90分) 【学修場所・媒体等】 筆記(記述式)試験 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 | 岡田 裕之 玉村 亮 齋藤 治 平山 真規 松島 聡司 小方 潔 頼昌 |

歯周治療学

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小方 頼昌 (歯周治療学) |

| | |
|--------------------------|---|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | 日本の全年齢層において、歯肉炎は約43%、歯周炎は約30%の人が罹患しており、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上にもなる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように歯周病を予防または治療することを目的とする学問である。重度歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な診断と治療計画に則った治療が要求される。的確な検査と診断、歯周治療が行えるようになるために、歯周治療学の知識、技能を習得する。 |
| 担当教員 | 小方 頼昌、中山 洋平、吉野 祥一、高井 英樹、目澤 優、豊嶋 泉、廣松 勇樹、井上 英子、蔦森 麻衣、相羽 悠喜子、加藤 彩子、山田 真莉子、内之浦 理奈、※若林 健史、※岩佐 俊夫、※澁川 直也、※横田 祐司 |
| 教科書 | 臨床歯周病学 第2版 伊藤公一 その他 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 小方頼昌 その他 歯周治療学講座編 |
| 参考図書 | 失敗しない歯周外科 キュレタージから再生療法まで 小方頼昌 國松和司 クインテッセンス出版 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一 その他 西村書店 プリベンティブペリオドントロジー 鴨井久一 その他 医歯薬出版 医歯薬出版 カラーアトラスハンドブック歯周治療臨床ヒント集 小方頼昌 その他 クインテッセンス出版 ラタイチャックカラーアトラス歯周病学 第3版 臨床歯周病学会編 永末書店 |
| 実習器材 | 顎模型、歯周外科治療用器具一式 |
| 評価方法 (EV) | 平常試験 60% 実習内容の評価 (実習作製、実技試験、実習中に行う試験等) 40% |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にファントム (マネキン) 実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 小方:ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|-------|
| 2016/09/28 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学① 総論、正常歯周組織、歯周組織の構造と機能 | <p>【授業の一般目標】 正常歯周組織の形態学的特徴および生理学、生化学的特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学特徴を復習する。 (目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、板書およびパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 オ セメント質 カ 歯肉 キ 歯根膜 <歯周靭帯> ク 歯槽骨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p> | 小方 頼昌 |
| 2016/10/05 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況 | <p>【授業の一般目標】 疫学的調査により歯周病の罹患状況を理解する。 疫学的評価法を学ぶ。</p> | 中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|-------|
| | 歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況 | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>歯周病と他の歯科疾患の罹患率を比較する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>301教室、板書およびパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 サ 歯周病の疫学要因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 病因論 イ 環境と疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p> | 中山 洋平 |
| 2016/10/12 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学③ 歯周病の病因と成り立ち、プラークと歯石、バイオフィルム、歯周病における微生物の役割、病原メカニズム | <p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周病と歯周病原菌 (バイオフィルム) の関係、炎症との関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>プラークと歯石、歯周病原菌について予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>301教室 板書およびパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 イ 辺縁歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 イ 歯肉病変の修飾因子 ウ 歯周炎 エ 歯周炎のリスクファクター オ 壊死性歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p> | 高井 英樹 |
| 2016/10/19 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学④ 歯周病の症状と徴候、歯周組織検査①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル | <p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周病の臨床像について理解し、その症状を学ぶ。歯周病検査、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケットおよびアタッチメントレベルについて学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯周病の症状と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>歯周病の臨床像について予習をする。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> | 吉野 祥一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|-------|
| 2016/10/19 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学④ 歯周病の症状と徴候、歯周組織検査①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル | 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 イ 辺縁歯周組織 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *①歯周疾患の症状を説明できる。【疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 | 吉野 祥一 |
| 2016/10/26 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑤ 歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類 | 【授業の一般目標】 歯周病の臨床所見を理解し、分類と特徴について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 【準備学修項目】 歯周病の臨床所見を予習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 イ 歯周病への対応 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。 | 目澤 優 |
| 2016/11/02 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑥ 歯周病の病因論、宿主防御反応、全身疾患と歯周疾患の関係 | 【授業の一般目標】 歯周病における宿主防御過程について学ぶ。全身疾患と歯周病との関係を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学修項目】 歯周病と全身疾患との関係を調べる。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室、板書およびパワーポイント 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 サ リスクファクター 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 イ 歯肉病変の修飾因子 エ 歯周炎のリスクファクター コ 歯周病と全身疾患との関わり 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。 | 小方 頼昌 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|-------|
| 2016/11/09 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑦ 根分岐部病変、歯内歯周病変、歯周基本治療 | <p>【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。 歯内歯周病変について学ぶ。 歯周治療の流れを説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 根分岐部病変と歯内歯周病変の分類について説明できる。 2. 歯周基本治療で実施する項目を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目】 根分岐部病変および歯内歯周病変の分類を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ケ 歯内歯周病変 9 歯周病の治療 カ 根分岐部病変の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p> | 高井 英樹 |
| 2016/11/16 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑧ 咬合と歯周病、歯の動揺と移動、歯肉の増殖と退縮、歯根露出、知覚過敏症への対応 | <p>【授業の一般目標】 咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処について学ぶ。</p> <p>【準備学修項目】 咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏について予習をする。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 カ 咬合性外傷 ク 歯肉退縮 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療 *①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 ②象牙質知覚過敏症を適切に処置できる。</p> | 中山 洋平 |
| 2016/11/30 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑨ 歯周病検査 | <p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解する。歯周病検査の意義と内容を説明できる。歯周病検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査 (基本検査、精密検査) の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周病検査項目と歯周治療の流れについて予習を行う。(目安時間 60分)</p> | 高井 英樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 2016/11/30 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑨ 歯周病検査 | <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。【検査法、メンテナンス法を含む。】</p> | 高井 英樹 |
| 2016/11/30 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1) | <p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の進め方を説明できる。 2. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を再確認する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/11/30 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1) | <p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の進め方を説明できる。 2. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を再確認する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2016/11/30 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1) | <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/12/07 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑩ 歯周基本治療(1) 口腔衛生指導 プラッシング指導 プラークコントロール | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。歯周基本治療の目的とその治療内容について説明できる。ブラッシング指導とプラークコントロールについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周基本治療で行う内容を説明できる。 2. 口腔衛生指導に重要性を理解する。</p> <p>【準備学修項目】 歯周基本治療の目的および項目を予習する。(目安時間 45分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ③正しくプラークコントロールができる。</p> | 吉野 祥一 |
| 2016/12/07 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療1、歯周病検査(2)、歯周病の検査・診断・治療計画、プロトコールの記入、人工歯石の塗布 | <p>【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周病検査(歯周精密検査)の項目を再確認する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/12/07 (水) 4時限 | 歯周基本治療1、歯周病検査(2)、 | <p>【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することが</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|
| 14:40～16:10 | 歯周病の検査・診断・治療計画、プロトコールの記入、人工歯石の塗布 | <p>きる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周病検査（歯周精密検査）の項目を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p> | 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/12/14 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学① 歯周基本治療(2) スケーリング | <p>【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を理解する。スケーリングに際し、適切なスクレーラーを選択できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. スクレーラーの種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 スクレーラーの種類と特徴を予習する。（目安時間 45分）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクレーリング・ルートプレーニングができる。</p> | 目澤 優 |
| 2016/12/14 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療2、ブラッシング、補助清掃器具の使用法 | <p>【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用方法を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ブラッシング法とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ブラッシング法とその特徴を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 2016/12/14 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療2、 ブラッシング、補 助清掃器具の使用 法 | 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ③正しくプラークコントロールができる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/12/14 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周基本治療2、 ブラッシング、補 助清掃器具の使用 法 | 【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 【準備学修項目】 ブラッシング法とその特徴を再確認する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ③正しくプラークコントロールができる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/12/21 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑫ 歯 周基本治療(3) スケーリング・ルー トプレーニング① | 【授業の一般目標】 スケーリング・ルートプレーニングに際し、適切なキュレットが選択でき、正しいポジションについて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを説明できる。 【準備学修項目】 スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを再確認する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 | 中山 洋平 |
| 2016/12/21 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療3、 スケーリング、ス ケーリング時のポ ジショニング、ス ケーラーの使用法 (カマ型スケーラー)、 人工歯石の塗布 | 【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目】 スケーラーの種類とその使用法を予習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2016/12/21 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療3、 スクーリング、ス ケーリング時のポ ジショニング、ス ケーラーの使用法 (カマ型スクーラー)、 人工歯石の塗布 | 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクーリング・ルートプレーニングができる。 | 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2016/12/21 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周基本治療3、 スクーリング、ス ケーリング時のポ ジショニング、ス ケーラーの使用法 (カマ型スクーラー)、 人工歯石の塗布 | 【授業の一般目標】 スクーリングの目的と方法を説明できる。スクーリングに使用する器具を選択 でき、使用できる。スクーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. スクーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目】 スクーラーの種類とその使用法を予習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクーリング・ルートプレーニングができる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 高井 優 目澤 泉 豊嶋 樹 廣松 勇 井上 英子 葛森 麻衣 相羽 悠喜 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2017/01/11 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑬、歯 周基本治療(4)、 スクーリング・ル ートプレーニング②、 スクーラーの研磨、 診査・診断 | 【授業の一般目標】 スクーラーおよびキュレットの適切な研磨ができる。歯周病検査の結果の分析、 診断について学ぶ。ルートプレーニングの目的と方法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. ルートプレーニングの目的と方法を理解する。 2. スクーラーおよびキュレットの適切な研磨法を説明できる。 【準備学修項目】 スクーラー研磨法、ルートプレーニングの目的を予習する。(目安時間 45分) 【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター | 高井 英樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2017/01/11 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑬、歯周基本治療(4)、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨、診査・診断 | <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p> | 高井 英樹 |
| 2017/01/11 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用法、グレーシーキュレット | <p>【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 グレーシーキュレットの使用法を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 高井 優 目澤 泉 豊嶋 勇樹 廣松 英子 井上 麻衣 蔦森 悠喜子 相羽 彩子 加藤 真莉子 山田 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2017/01/11 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用法、グレーシーキュレット | <p>【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 グレーシーキュレットの使用法を再確認する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 高井 優 目澤 泉 豊嶋 勇樹 廣松 英子 井上 麻衣 蔦森 悠喜子 相羽 彩子 加藤 真莉子 山田 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2017/01/18 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑭、歯周基本治療の進め方、歯周基本治療の意義 | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周基本治療について再復習する。(目安時間 45分)</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> | 吉野 祥一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
| 2017/01/18 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学④、歯周基本治療の進め方、歯周基本治療の意義 | 301教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ウ 診察時の体位 b 術者の姿勢・位置 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクレーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 | 吉野 祥一 |
| 2017/01/18 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯周基本治療5、スクレーリング・ルートプレーニング②、スクレーラーの研磨 | 【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スクレーラーおよびキュレットの選択、使用方法およびポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングを実施できる。 【準備学修項目】 ルートプレーニングに関して復習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 板書およびパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 テ 歯周病の治療 a 基本的術式 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクレーリング・ルートプレーニングができる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2017/01/18 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周基本治療5、スクレーリング・ルートプレーニング②、スクレーラーの研磨 | 【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スクレーラーおよびキュレットの選択、使用方法およびポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングを実施できる。 【準備学修項目】 ルートプレーニングに関して復習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 板書およびパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 テ 歯周病の治療 a 基本的術式 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2017/01/18 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周基本治療5、 スケーリング・ルート プレーニング②、 スケーラーの研磨 | 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史 |
| 2017/01/25 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑮、歯 周基本治療まとめ、 平常試験① | 【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学修項目】 歯周基本治療全般について復習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくプラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 |
| 2017/01/25 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑯、歯 周基本治療まとめ、 平常試験①解説 | 【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学修項目】 歯周基本治療全般について復習する。(目安時間 60分) 【学修場所・媒体等】 301教室 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくプラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 | 小方 頼昌 |
| 2017/01/25 (水) | 歯周基本治療まと | 【授業の一般目標】 | 小方 頼昌 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|---|
| 3時限 13:00~14:30 | め、実習試験①、 実技 | <p>歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 実習で行った内容を再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | <p>中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 鳥森 麻衣 井上 英子 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史</p> |
| 2017/01/25 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯周基本治療まと め、実習試験②、 実技 | <p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 実習で行った内容を再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | <p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 豊嶋 泉 廣松 勇樹 鳥森 麻衣 井上 英子 相羽 悠喜子 加藤 彩子 山田 真莉子 内之浦 理奈 若林 健史</p> |
| 2017/02/08 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯周基本治療まと め、平常試験② | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周基本治療の内容について再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ク 歯・歯周組織の診察 c 根尖・辺縁歯周組織の症状</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくプラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p> | <p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優</p> |
| 2017/02/08 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯周基本治療まと め、平常試験②解 説 | <p>【授業の一般目標】 歯周病の症状を患者に適切に伝えることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 治療を受ける患者の心理状態や理解度を配慮できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯周基本治療で行う内容をまとめ再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> | <p>小方 頼昌 若林 健史</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------|--|----------------|
| 2017/02/08 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯周基本治療まとめ、平常試験②解説 | 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ア 診察のあり方 d 患者への説明 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 | 小方 頼昌 若林 健史 |

保存修復学

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 平山 聡司 (保存修復学) |

| | |
|--------------------------|---|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | <p>歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。</p> <p>前期では、総論と間接修復法の中でも「非接着修復法」であるメタルインレー修復について学修する。総論の内容としては、齶蝕原因菌の細菌学的特徴、硬組織疾患の種類と予防、検査方法、治療に用いる器材薬剤と窩洞の名称等についてである。そして、種々の症例に適応した修復材料の特徴を理解するために、メタルインレー修復を通して修復材料の材料学的、臨床的特徴について学修し、さらに回転切削器具による窩洞形成を行い、印象採得からワックスアップ・埋没操作等の技工操作を含めたメタルインレー修復の実習を行う。これらの学修内容は、臨床において必要不可欠となる歯式や窩洞の名称だけでなく、使用する材料、器具等の名称とその使用目的を学ぶこととなる。これは、臨床の基礎であり、今後の授業あるいは実習内容を理解するための基本となる。</p> <p>後期は、Minimal Intervention Dentistry の概念に基づいて齶蝕などにより生じた歯の硬組織欠損や歯の損耗および歯の変色を機能的かつ審美的に修復することができるようになるために、「接着修復法」であるコンポジットレジン修復法、間接審美修復法および生活歯の漂白法に関する知識、態度および技能を修得する。</p> |
| 担当教員 | 平山 聡司、神谷 直孝、岡田 珠美、岩井 啓寿、寺中 文子、中島 光、田久保 智子、大塚 一聖、※須原 秀宜、※杉山 道紀、※塩 秀明、※笹本 恭子、壹岐 宏二、※小西 美德、※高鹿 志保、※木村 大、※金杉 紀明、※大村 基守、※細野 隆也、※藤川 謙次、森 俊幸、※深澤 正幹、※並木 泰次、※富田 行秀、※富久田 梢、※常田 幸斉、※伊東 哲明、鈴木 英明、※田川 剛士、※飯田 浩雅、※飯泉 淳、※熱田 亘、※渡邊 康夫、齋藤 千春、※若松 尚吾、※山本 憲廣、※青野 英二、※庫山 未希、※小泉 直也 |
| 教科書 | 保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 医歯薬出版 Operative Dentistry Laboratory Manual 2016 平山聡司、神谷直孝、岡田珠美 保存修復学講座 |
| 参考図書 | 保存修復学21 第4版 田上順次、千田 彰、奈良陽一郎、桃井保子[監修] 永末書店 保存修復学サイドリーダー 第4版 河野善治、平山聡司、鈴木英明 学建書院 |
| 評価方法 (EV) | <p>保存修復学における評価は、講義と実習の評価割合を以下のように判定する。</p> <p>1) 講義に関する平常試験を4回(前期2回、後期4回)実施し、その成績評価の60%。 なお、平常試験の追試験、再試験は行わない。</p> <p>2) 実習は、実習作製物の評価(60%)、実習ポスト試験成績(10%)、実技試験(10%)および実習口頭試問(2回実施、20%)を総合的に評価し、その評価の40%。なお、実習ポスト試験の追試験は行わない。</p> |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | <p>保存修復治療は、一般歯科治療の中でも高頻度に行われる処置である。したがって、3年次で学んだことが歯科医療人としての医療知識や技術を左右するといっても過言ではない。毎回の講義・実習での学習を大切に持って行って欲しい。</p> <p>なお、オフィスアワーは特に設定しないが、メールによる質問を受け付ける。</p> <p>平山 : hirayama.satoshi@nihon-u.ac.jp</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|-------|
| 2016/04/07 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復講義①: 保存修復学概説 | <p>【授業の一般目標】 健康で豊かな口腔機能を維持増進させるために、保存修復学の役割とその目的および治療に用いる修復材料と切削器具の変遷について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保存修復学の概念と目的について説明できる。 2. 修復材料に関する歴史について説明できる。 3. 歯の切削器具に関する歴史について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 保存修復学第6版、p1~p5の予習を行う。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 イ エアータービン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 ウ マイクロモータ</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|-------|
| 2016/04/07 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復講義①：保存 修復学概説 | | 平山 聡司 |
| 2016/04/14 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復講義②：う蝕 の病因・病態と処 置 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患のうち最も多いう蝕の処置が行えるようになるために、う蝕の 病因と病態および予知について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕の発生メカニズムについて説明できる。 2. う蝕の特徴を説明できる。 3. う蝕の分類と表記を説明できる。 4. う蝕の予知について説明できる。 5. う蝕のリスクファクターについて説明できる。 6. う蝕の処置方法について説明できる。 7. う蝕予防とPMTCについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 う蝕の原因菌について理解する。 歯の脱灰と再石灰化について理解する。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 ウ 初期齲蝕の診断 エ ライフステージと齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】</p> | 岡田 珠美 |
| 2016/04/21 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復講義③：う蝕 病巣の進行と構造 | <p>【授業の一般目標】 う蝕に罹患した硬組織の適切な処置が行えるようになるために、罹患部分によ って進行が異なるう蝕病巣の構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質う蝕の広がりとその構造について説明できる。 2. 象牙質う蝕の広がりとその構造について説明できる。 3. セメント質う蝕の広がりとその構造について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2016/04/22 (金) 3時限 | 修復講義④：う蝕 以外の歯の硬組織 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織に生じた欠損に対して適切な診断と処置が行えるようになるために、</p> | 神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|--|-------|
| 13:00~14:30 | 疾患 | <p>その原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> う蝕以外の歯の硬組織疾患を列挙できる。 Tooth Wearについて説明できる。 クサビ状欠損の原因と特徴について説明できる。 摩耗症の原因と特徴について説明できる。 咬耗症の原因と特徴について説明できる。 酸蝕症の原因と特徴について説明できる。 <p>【準備学修項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造とその特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ウ 歯の損耗 <Tooth Wear></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 エ 象牙質・歯髄複合体 オ セメント質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p> | 神谷 直孝 |
| 2016/04/22 (金) 4時限 14:40~16:10 | 修復講義⑤：硬組織疾患の検査法 | <p>【授業の一般目標】 硬組織欠損の原因を探り適切な診断や治療計画の立案ができるようになるために、硬組織疾患の検査法と検査に必要な器具およびその手技について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 硬組織疾患を有する歯の診断に必要な検査法を列挙できる。 検査に必要な器具の名称と使用法について説明できる。 <p>【準備学修項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常機能と構造について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。</p> | 神谷 直孝 |
| 2016/04/28 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復講義⑥：修復前準備、滅菌消毒と感染予防 | <p>【授業の一般目標】 適切な修復操作が行えるようになるために、修復前準備の種類とその意義目的および必要な器具について理解する。 修復処置にあたり感染予防が実施できるようになるために、歯科用器具の滅菌法と消毒法の種類と使用する器具や薬物について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|--|-------------------------|
| 2016/04/28 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑥：修復前準備、滅菌消毒と感染予防 | <p>1. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 2. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。 3. 滅菌法の種類とその特徴について説明できる。 4. 消毒法の種類とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 硬組織欠損に対する適切な修復処置法について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ク 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2016/05/12 (木) 3時限 13:00～14:30 | 平常試験① 保存修復 | <p>【授業の一般目標】 保存修復試験範囲：修復講義①～⑥の範囲</p> <p>【準備学修項目】 保存修復試験範囲：修復講義①～⑥の範囲</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 |
| 2016/05/19 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復講義⑦：窩洞の名称と分類 | <p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 2. 窩洞の種類について説明できる。 3. 窩洞の分類について説明できる。 4. Blackの窩洞分類について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 う蝕の好発部位を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2016/05/19 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑧：窩洞の具備条件 | <p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞の具備条件と窩洞外形を規定する因子について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 窩洞の具備条件を列挙できる。 2. 窩洞外形を規定する因子を列挙できる。 3. 保持形態について説明できる。 4. 抵抗形態について説明できる。</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|-------|
| 2016/05/19 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑧：窩洞の具備条件 | <p>5. 便宜形態について説明できる。 6. 窩縁形態について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 窩洞の名称について説明できる。 Blackの窩洞分類について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 310教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2016/05/20 (金) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑨：硬組織の切削・歯髄傷害およびその対策と歯髄保護 | <p>【授業の一般目標】 適切な硬組織の切削が行えるようになるために、回転切削器具や手用切削器具の種類とその特徴および歯髄傷害の予防を考慮した切削法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 2. 回転切削器械の種類と特徴について説明できる。 3. その他の硬組織切削器具の種類とその特徴について説明できる。 4. 歯質切削後のエナメル質・象牙質の損傷について説明できる。 5. 歯質切削後の歯髄の傷害について説明できる。 6. 歯髄傷害の予防対策について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 エナメル質の構造と特徴について説明できる。 象牙質・歯髄複合体の構造と特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 イ エアータービン</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 ウ マイクロモータ 3 切削、研削、研磨 ア 切削・研削器具</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。</p> | 岩井 啓寿 |
| 2016/05/26 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑩：メタルインレー修復 | <p>【授業の一般目標】 臼歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の特徴と窩洞の具備条件および臨床手順について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. メタルインレー修復の特徴について説明できる。 2. メタルインレー修復の窩洞について説明できる。 3. メタルインレーの材料学的特徴について説明できる。 4. メタルインレー修復の術式について説明できる。 5. メタルインレーの製作法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 窩洞の名称と具備条件に関する知識</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------|--|---|
| 2016/05/26 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑩：メタルインレー修復 | 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2016/06/02 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習①：歯の切削の基本操作 | 【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用ファントームの使用方法を説明できる。 2. 水平位診療における基本姿勢について説明できる。 3. 回転切削器械を正しく使用できる。 4. デンタルミラーの使用目的を説明できる。 5. タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。 【準備学修項目】 窩洞の名称と具備条件に関する知識 回転切削器械の種類と特徴に関する知識 切削器具の種類と特徴に関する知識 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なる蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓文 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 瓦 飯泉 淳 飯田 浩雅 飯田 宏 壹岐 哲明 伊東 二 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 小齋 千春 藤本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常富 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫 |
| 2016/06/02 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習①：歯の切削の基本操作 | 【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用ファントームの使用方法を説明できる。 2. 水平位診療における基本姿勢について説明できる。 3. 回転切削器械を正しく使用できる。 4. デンタルミラーの使用目的を説明できる。 5. タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。 【準備学修項目】 窩洞の名称と具備条件に関する知識 回転切削器械の種類と特徴に関する知識 切削器具の種類と特徴に関する知識 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓文 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 瓦 飯泉 淳 飯田 浩雅 飯田 宏 壹岐 哲明 伊東 二 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 小齋 千春 藤本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 2016/06/02 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習①: 歯の 切削の基本操作 | 1 5 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 | 根川哲士 田剛士 常田幸 富久田幸 富田行 並木泰次 深澤正幹 藤川謙次 細野隆也 森俊幸 山本憲 若松尚 渡邊康夫 |
| 2016/06/09 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復実習②: 2倍 大模型を用いた1 級メタルインレー 窩洞形成 | 【授業の一般目標】 1級メタルインレー窩洞の形成が行えるようになるために、窩洞形成に必要な 器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 窩洞形成に必要な切削器具を選択できる。 2. 適切な診療体位を取ることができる。 3. 適切な窩洞外形を設定できる。 4. 回転式切削器具を使用して1級窩洞の形成ができる。 【準備学修項目】 Blackの窩洞分類が説明できる。 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山聡司 神谷直孝 岡田美 岩井啓 寺中寿 中島文 中島光 田久保智 大塚子 青野一 熱野聖 飯田英 飯田淳 飯田浩 壹岐雅 伊東宏 大村明 大金基 杉村守 木村紀 庫山未 小泉直 高鹿志 小西美 齋藤千 笹本春 塩秀明 杉山道 鈴木英 須原秀 関根哲 田川剛 常田士 富久田幸 富田行 並木泰 深澤正 藤川謙 細野隆 森俊幸 山本憲 若松尚 渡邊康夫 |
| 2016/06/09 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習②: 2倍 大模型を用いた2 級メタルインレー 窩洞形成 | 【授業の一般目標】 2級メタルインレー窩洞の形成が行えるようになるために、窩洞形成に必要な 器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 窩洞形成に必要な切削器具を選択できる。 2. 適切な診療体位を取ることができる。 3. 適切な窩洞外形を設定できる。 4. 窩洞の具備条件を考慮した2級メタルインレー窩洞の形成 【準備学修項目】 窩洞の構成と名称 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山聡司 神谷直孝 岡田美 岩井啓 寺中寿 中島文 中島光 田久保智 大塚子 青野一 熱野聖 飯田英 飯田淳 飯田浩 壹岐雅 伊東宏 大村明 大金基 杉村守 木村紀 庫山未 小泉直 高鹿志 小西美 齋藤千 笹本春 塩秀明 杉山道 鈴木英 須原秀 関根哲 田川剛 常田士 富久田幸 富田行 並木泰 深澤正 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---|
| 2016/06/09 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習②：2倍大模型を用いた2級メタルインレー窩洞形成 | F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 | 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/06/16 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習③：下顎臼歯2級メタルインレー窩洞形成1 | 【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 2級メタルインレー窩洞の窩壁の名称について説明できる。 2. 2級メタルインレー窩洞の具備条件について説明できる。 3. 直視による正しいチェアーポジションが取れる。 4. 直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。 【準備学修項目】 Blackの分類を説明できる。 2級メタルインレー窩洞について説明できる。 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山本 希也 小泉 直也 高鹿 志保 齋藤 美徳 藤本 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 須川 剛士 常田 幸齊 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/06/16 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習③：下顎臼歯2級メタルインレー窩洞形成2 | 【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 直視による正しいチェアーポジションが取れる。 2. 直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。 【準備学修項目】 2級メタルインレー窩洞について説明できる。 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山本 希也 小泉 直也 高鹿 志保 齋藤 美徳 藤本 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 須川 剛士 常田 幸齊 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/06/23 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復講義⑩：連合印象法、仮封材 | 【授業の一般目標】 メタルインレー体を作製できるようになるために、窩洞形成歯の印象採得に必要な印象材の種類とその特徴および連合印象法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 印象材の種類と特徴を説明できる。 2. 連合印象法の特徴について説明できる。 3. 連合印象法の手順について説明できる。 4. 仮封の目的について説明できる。 5. 仮封材の所要性質と種類および使用方法について説明できる。 | 岡田 珠美 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|--|
| 2016/06/23 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復講義⑩: 連合 印象法、仮封材 | <p>【準備学修項目】 シリコン印象材の成分に対する理解。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩仮封の意義、種類および特徴を説明できる。</p> | 岡田 珠美 |
| 2016/06/23 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習④: 印象 採得、石膏注入 | <p>【授業の一般目標】 メタルインレー一体作製のための作業模型が製作できるようになるために、シリコン連合印象材の特徴と採得手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象材の適切な取り扱いができる。 2. シリコン連合印象によりメタルインレー窩洞の印象採得ができる。 3. アルジネート印象材により対合歯の印象採得ができる。</p> <p>【準備学修項目】 アルジネート印象材の練和ができる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 瓦 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 大村 守 大金 基 杉村 紀明 木村 大 山本 希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 鈴木 道 須原 英明 関根 秀宜 田川 哲 常田 剛士 富久 幸 富田 幸 並木 行 深澤 泰次 藤川 正幹 細野 謙次 森 隆也 山本 俊幸 松本 憲 渡邊 廣 康夫 |
| 2016/06/30 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復実習⑤: 作業 模型の作製 | <p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体のワックスアップが行えるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パラフィンワックスによる咬合採得ができる。 2. メタルインレー窩洞の仮封ができる。 3. 作業模型を作製できる。</p> <p>【準備学修項目】 石膏の取り扱いができる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 瓦 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 大村 守 大金 基 杉村 紀明 木村 大 山本 希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 鈴木 道 須原 英明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 2016/06/30 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復実習⑤: 作業 模型の作製 | 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 | 根川 哲士 田久 剛 常田 幸 富田 幸 並木 行 深澤 泰 藤川 正 細野 謙 森 隆 山本 俊 若松 幸 渡邊 憲 廣 吾 夫 康 |
| 2016/06/30 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習⑤: 作業 模型の作製 | 【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー一体のワックスアップが行えるようになるために、 機能的な作業模型の作製について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を作製できる。 【準備学修項目】 石膏の取り扱いができる。 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑤修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 | 平山 聡 神谷 直 岡田 孝 岩井 美 寺中 啓 中島 文 田久 智 田保 子 塚一 聖 青野 英 熱田 二 飯田 淳 飯田 浩 壹岐 雅 伊東 宏 大村 明 大村 哲 金杉 基 木村 紀 庫山 明 小泉 希 高直 志 高鹿 保 小西 徳 齋藤 美 笹本 千 塩 恭 山 秀 杉山 道 鈴木 紀 須原 明 根 秀 関 哲 田 剛 常田 士 富田 幸 富田 行 並木 泰 深澤 次 藤川 正 細野 謙 森 隆 山本 俊 若松 幸 渡邊 憲 廣 吾 夫 康 |
| 2016/07/07 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復講義⑫: イン レーワックス、埋 没法 | 【授業の一般目標】 窩洞に適合するメタルインレー一体が作製できるようになるために、インレーワ ックスと埋没材の材料学的特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インレーワックスの種類と特徴を説明できる。 2. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。 【準備学修項目】 次の用語について理解する。 ・ワックスアップ ・埋没 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 12 金属の成形技術・機器 イ 石膏系鋳型材 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 12 金属の成形技術・機器 ア 鋳造工程 イ 石膏系鋳型材 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 *⑥レジン重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特 徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックス の種類、用途および特性を含む。】 | 平山 聡 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|--|
| 2016/07/07 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義⑬：鋳造法、鋳造欠陥 | <p>【授業の一般目標】 窩洞に適合するメタルインレー体が作製できるようになるために、メタルインレー体の鋳造収縮補償と鋳造欠陥について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.メタルインレーの鋳造法と鋳造収縮補償を説明できる。 2.鋳造欠陥の種類を列挙できる。 3.鋳造欠陥の原因とその対策について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 金属の鋳造収縮について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 イ 石膏系鋳型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 ア 鋳造工程 エ 鋳造精度 オ 鋳造欠陥</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 *⑥レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】</p> | 神谷 直孝 |
| 2016/07/14 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑥：ワックスアップ | <p>【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.インレーワックスの取り扱いができる。 2.2級メタルインレーのワックス形成ができる。</p> <p>【準備学修項目】 インレーワックスの特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 明守 大村 基 金杉 紀明 木村 大 山庫 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 山 英明 須原 秀宜 関根 哲 田川 剛士 常田 幸 富田 幸 富田 行 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫 |
| 2016/07/14 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑦：埋没 | <p>【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップと埋没操作について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.インレーワックスの取り扱いができる。 2.2級メタルインレーのワックス形成ができる。 3.ワックスパターンの処理と埋没操作が出来る。</p> <p>【準備学修項目】 インレーワックスの特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|--|---|
| 2016/07/14 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑦：埋没 | 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 イ 石膏系鋳型材 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 *⑥レジン ^⑥ の重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】 | 伊東大村山木庫小高齋笹本塩山鈴須関田田常富並藤川森山若渡 東村杉村山泉鹿西藤本秀山木原根川田久田木澤川野俊本松渡 守基紀明大未直志美千恭子明道英秀哲剛士幸田行泰正謙隆幸憲尚 明紀明大未直志美千恭子明道英秀哲剛士幸田行泰正謙隆幸憲尚 守基紀明大未直志美千恭子明道英秀哲剛士幸田行泰正謙隆幸憲尚 明紀明大未直志美千恭子明道英秀哲剛士幸田行泰正謙隆幸憲尚 |
| 2016/07/21 (木) 3時限 13:00～14:30 | 平常試験② 保存修復 | 【授業の一般目標】 平常試験②：修復講義⑦～⑬の範囲 【行動目標（S B O s）】 1. 講義内容について説明できる。 【準備学修項目】 修復講義⑦～⑬の範囲の復習 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 | 平山神岡岩 山谷田井 聡直珠啓 司孝美寿 啓文子 光智子 一聖二 英互淳 浩雅二 宏明守 基紀明 大未希也 直志保 美徳春 千美春 恭子 明道 英明 秀宜 哲子 剛士 幸齊 田行 秀次 泰幹 正謙 次隆 也幸 憲廣 尚吾 夫康 |
| 2016/07/21 (木) 4時限 14:40～16:10 | 実技試験（下顎大白歯2級インレー窩洞形成） | 【授業の一般目標】 下顎大白歯2級メタルインレー窩洞形成 【行動目標（S B O s）】 1. 2級メタルインレー窩洞の形成ができる。 【準備学修項目】 下顎大白歯2級メタルインレー窩洞の特徴と具備条件 窩洞形成に用いる切削器具の選択 【学修場所・媒体等】 第4実習室 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 | 平山神岡岩寺中島田大塚青野熱飯飯壹岐伊東大金杉木庫山泉高齋藤笹本塩山鈴須関田田常富並藤川森山若渡 山谷田井寺中島田大塚青野熱飯飯壹岐伊東大金杉木庫山泉高齋藤笹本塩山鈴須関田田常富並藤川森山若渡 聡直珠啓文子光智子一聖二英互淳浩雅二宏明守基紀明大未希也直志保美徳春千美春恭子明道英明秀宜哲子剛士幸齊田行秀次泰幹正謙次隆也幸憲廣尚吾夫康 |
| 2016/09/08 (木) 3時限 13:00～14:30 | 実習口答試問① | 【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習①～⑩の実習内容 【行動目標（S B O s）】 1. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 3. 実習で学んだ間接修復法について説明できる。 【準備学修項目】 修復実習①～⑩の範囲について復習しておく。 【学修方略（L S）】 講義 | 平山神岡岩寺中島田大塚青野熱飯飯壹岐 山谷田井寺中島田大塚青野熱飯飯壹岐 聡直珠啓文子光智子一聖二英互淳浩雅二 司孝美寿啓文子光智子一聖二英互淳浩雅二 直珠啓文子光智子一聖二英互淳浩雅二 宏明守基紀明大未希也直志保美徳春千美春恭子明道英明秀宜哲子剛士幸齊田行秀次泰幹正謙次隆也幸憲廣尚吾夫康 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------|---|---|
| 2016/09/08 (木) 3時限 13:00~14:30 | 実習口答試験① | 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 伊東 哲明 大村 基紀 大金 紀明 杉村 大希 木村 未直 庫山 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 小西 美春 齋藤 千子 笹本 恭子 塩本 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常川 幸斉 富田 久梢 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/09/08 (木) 4時限 14:40~16:10 | 実習口答試験① | 【授業の一般目標】 口頭試験の範囲：修復実習①~⑩の実習内容 【行動目標(SBOs)】 1. 実習で学んで修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 【準備学修項目】 修復実習①~⑩の範囲について復習しておく。 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 島中 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 二英 熱田 互雅 飯田 淳浩 飯田 宏二 壹岐 明守 伊東 基紀 大金 紀明 杉村 大希 木村 未直 庫山 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 小西 美春 齋藤 千子 笹本 恭子 塩本 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常川 幸斉 富田 久梢 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/09/29 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義④：う窩の処置とAIPC法 | 【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別と除去に使用する器具および歯髄保護について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. エナメル質の再石灰化療法について説明できる。 2. MIに基づいたう蝕象牙質の除去について説明できる。 3. う窩処置に用いる器材について説明できる。 4. う蝕象牙質第一層と第二層について説明できる。 5. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分けについて説明できる。 6. AIPC法の適応症について説明できる。 7. AIPC法の目的・術式および使用薬物について説明できる。 8. AIPC法と間接覆髄法の違いについて説明できる。 【準備学修項目】 う蝕の進行を説明できる。 う蝕病巣の構造を説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---|
| 2016/09/29 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑭: う窩の処置とAIPC法 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 オ 象牙質・歯髄保護法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2016/09/29 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復実習⑦: 感染象牙質除去とAIPC法、ラバーダム防湿 | 【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法およびAIPC法の術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. う蝕検知液を適切に使用できる。 4. う蝕除去に使用する器具を選択できる。 5. ハンドピースの適切な取り扱いができる。 6. う蝕除去に用いる器具を適切に使用できる。 7. AIPC法を術式に則って実施できる。 8. AIPC法に使用する適切な薬物を選択できる。 9. グラスアイオノマーセメントによる暫間充填ができる。 【準備学修項目】 チェアポジションについて説明できる。 う蝕象牙質の病理学的層分けについて説明できる。 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏 伊東 哲二 大村 明守 大村 基紀 金杉 明 木村 紀明 庫山 大 山 未希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫 |
| 2016/09/29 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習⑦: 感染象牙質除去とAIPC法、ラバーダム防湿 | 【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法およびAIPC法の術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. う蝕検知液を適切に使用できる。 【準備学修項目】 象牙質齲蝕の進行について説明できる。 【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏 伊東 哲二 大村 明守 大村 基紀 金杉 明 木村 紀明 庫山 大 山 未希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 2016/09/29 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑦: 感染象牙質除去とAIPC法、ラバーダム防湿 | E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑭ 歯髄保護の術式を適切に実施できる。 ⑯ う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ① 形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ② 適切なハンドピース操作ができる。 ⑤ 歯髄保護に配慮できる。 | 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/10/06 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑮: コンポジットレジン修復 — コンポジットレジンとは何か — | 【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復の特徴と適応症および術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 2. コンポジットレジンの種類と組成について説明できる。 3. コンポジットレジン修復法の術式について説明できる。 4. コンポジットレジンペーストの成分と種類およびその特徴について説明できる。 【準備学修項目】 非接着性修復と接着性修復の違いについて説明できる。 接着性修復の窩洞の特徴について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2016/10/06 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復講義⑯: コンポジットレジン修復 — 術式と使用機材 — | 【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復の窩洞の特徴と充填・研磨に用いる器具・機材について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジン修復窩洞の特徴と具備条件について説明できる。 2. コンポジットレジンの圧接子と隔壁について説明できる。 3. コンポジットレジン修復に用いるその他の器材について説明できる。 4. 光照射器の種類と特徴および取り扱いについて説明できる。 5. コンポジットレジンの研磨について説明できる。 【準備学修項目】 接着性修復について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2016/10/06 (木) 4時限 | 修復実習⑧: 1級コンポジットレジン | 【授業の一般目標】 1級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、接 | 平山 聡司 神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|
| 14:40～16:10 | ン修復 | <p>着操作とレジン充填について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. MIに基づいた1級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 2. ラバーダム防湿法が実施できる。 3. 適切な接着操作ができる。 4. 1級コンポジットレジン充填ができる。 5. 1級コンポジットレジン充填の形態修正が行える。</p> <p>【準備学修項目】 コンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。 ラバーダム防湿法の手順が説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切な腐除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p> | 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 浩二 壹岐 宏明 伊東 哲明 大村 基守 大金 基明 杉村 守明 木村 大 山 未希 庫 直也 小泉 志保 高 鹿 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斎 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/10/13 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑦：コン ポジットレジン修 復 —接着歯学— | <p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン の歯質接着性システムと術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 接着性修復の意義と歴史について説明できる。 2. 接着性修復の種類と特徴について説明できる。 3. コンポジットレジンの材料の特徴について説明できる。 4. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 5. セルフエッチングプライマーとボンディング材の組成について説明できる。 6. 2ステップボンディングシステムによる接着について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 エナメル質と象牙質の正常構造について説明できる。 コンポジットレジンの成分について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2016/10/13 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑨：3級 コンポジットレジン 修復 | <p>【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切な腐除去、接 着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ラバーダム防湿（連続防湿）ができる。 2. 唇面からの感染象牙質除去ができる。 3. ミラーテクニックで舌面から感染象牙質除去ができる。 4. 隔壁の設置ができる。 5. 適切な歯面処理ができる。 6. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。 7. 形態修正と仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目】 平滑面う蝕の進行について説明できる。 コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 浩二 壹岐 宏明 伊東 哲明 大村 基守 大金 基明 杉村 守明 木村 大 山 未希 庫 直也 小泉 志保 高 鹿 小西 美徳 齋藤 千春 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2016/10/13 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑨：3級 コンポジットレジン 修復 | <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p> | 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英宜 須原 秀子 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富田 幸稍 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/10/13 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑩：4級 コンポジットレジン 修復 | <p>【授業の一般目標】 4級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なるう蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ラバーダム防湿（連続防湿）ができる。 2. 適切な4級窩洞の形成ができる。 3. 隔壁の設置ができる。 4. 適切な歯面処置ができる。 5. コンポジットレジンの充填ができる。 6. 形態修正ができる。 7. 仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目】 コンポジットレジンの修復操作手順について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 明守 大村 基紀 金杉 明大 村山 未希 庫山 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 小西 美春 齋藤 千恭 藤本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英宜 須原 秀子 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富田 幸稍 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/10/20 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑱：コン ポジットレジン修 復の臨床的問題点 とその対策 | <p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの重合収縮応力の発生とその対処法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コンポジットレジン修復の収縮応力について説明できる。 2. コントラクションギャップについて説明できる。 3. ホワイトマージンについて説明できる。 4. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 5. コンポジットレジン修復後の不快症状への対処法について説明できる。 6. コンポジットレジン修復の予後について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 コンポジットレジンの材料学的特性について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> | 神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2016/10/20 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑩：コン ポジットレジン修 復の臨床的問題点 とその対策 | <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p> | 神谷 直孝 |
| 2016/10/20 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑪：2級 コンポジットレジン 修復 | <p>【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. レバーダム防湿（連続防湿）ができる。 2. MI に基づいた2級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 3. 適切な接着操作ができる。 4. トップルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 5. コンタクトマトリックスを用いて隔壁を設置できる。 6. 積層充填による2級コンポジットレジン充填ができる。 7. 2級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。</p> <p>【準備学修項目】 2級窩洞に用いる隔壁の種類と特徴について説明できる。 コンポジットレジン修復に必要な器材を選択できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なる蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 浩宏 壹岐 哲二 伊東 基明 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲士 田川 剛 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/10/20 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑪：2級 コンポジットレジン 修復 | <p>【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. レバーダム防湿（連続防湿）ができる。 2. MI に基づいた2級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 3. 適切な接着操作ができる。 4. トップルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 5. コンタクトマトリックスを用いて隔壁を設置できる。 6. 積層充填による2級コンポジットレジン充填ができる。 7. 2級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。</p> <p>【準備学修項目】 2級窩洞に用いる隔壁の種類と特徴について説明できる。 コンポジットレジン修復に必要な器材を選択できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 浩宏 壹岐 哲二 伊東 基明 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲士 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|---|
| 2016/10/20 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑩：2級 コンポジットレジン 修復 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。 | 田川 剛士 常田 幸齊 富久田 梢 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/10/27 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復実習⑨：コン ポジットレジン修 復の材料学 | 【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン材料 の特性について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンの重合機序について説明できる。 2. ベースモノマーと接着性機能性モノマーの違いについて説明できる。 3. コンポジットレジンに含まれる成分を列挙できる。 4. フィラーの種類とその役割について説明できる。 【準備学修項目】 コンポジットレジン修復に必要な前準備について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 8 歯冠修復用材料 ア レジン 10 レジンの成形技術・機器 ウ 光重合 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説 明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に 使用される素材間の物性比較を含む。】 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *⑥レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特 徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックス の種類、用途および特性を含む。】 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。 | 中島 光 |
| 2016/10/27 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復講義⑩：グラ スアイオノマーセ メント修復 | 【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損を適切に修復するために、グラスアイオノマーセメントの適応 症、特徴、術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. グラスアイオノマーセメント修復の適応症について説明できる。 2. グラスアイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 3. 従来型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 4. レジン添加型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 5. グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。 6. 根面う蝕の処置方針について説明できる。 【準備学修項目】 クサビ状欠損について説明できる。 セメント質う蝕について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 | 岩井 啓寿 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|--|
| 2016/10/27 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復講義⑳：グラスアイオノマーセメント修復 | 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 1 歯の硬組織疾患 エ 歯の硬組織疾患への対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。【う蝕の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 *③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 | 岩井 啓寿 |
| 2016/10/27 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復講義㉑：ベニア修復 | 【授業の一般目標】 前歯部の審美修復が行えるようになるために、ラミネートベニア修復とコンボジットレジンダイレクトベニア修復の特徴と臨床手順について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. ラミネートベニア修復の特徴について説明できる。 2. ラミネートベニア修復の手順について説明できる。 3. コンボジットレジンダイレクトベニア修復の特徴について説明できる。 4. コンボジットレジンダイレクトベニア修復の手順について説明できる。 【準備学修項目】 歯の変色の原因と対処法について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 | 岩井 啓寿 |
| 2016/11/10 (木) 2時限 10:40～12:10 | 平常試験 保存修復③ | 【授業の一般目標】 保存修復平常試験③の範囲：修復講義㉑～㉒の範囲 【準備学修項目】 修復講義㉑～㉒の範囲に対する復習 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 | 平山 聡司 神谷 直孝 岩井 啓寿 中島 光 |
| 2016/11/10 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習㉒：5級およびクサビ状欠損コンボジットレジン修復 | 【授業の一般目標】 5級およびクサビ状欠損に対するコンボジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 5級コンボジットレジン修復窩洞が形成できる。 2. クサビ状欠損に対する窩洞形成ができる。 3. 簡易防湿ができる。 4. 歯面処理ができる。 5. コンボジットレジンを充填できる。 6. サービカルマトリックスによる圧接・形態付与ができる。 7. 形態修正ができる。 8. 仕上げ研磨ができる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2016/11/10 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復実習⑫: 5級 およびクサビ状欠 損コンポジットレ ジン修復 | <p>【準備学修項目】 クサビ状欠損の特徴について説明できる。 平滑面う蝕の進行について説明できる。 コンポジットレジン修復の術式について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。 *④MI(Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p> | 大村 基守 金村 紀明 杉村 大 山 希也 庫 直也 小泉 志保 高 美徳 西 千春 齋 藤 藤 本 笹 子 本 秀明 塩 道紀 山 杉 道 英 鈴 木 明 秀 須 原 宜 剛 川 幸 剛 士 田 幸 幸 斉 常 田 田 行 富 田 田 秀 富 田 行 秀 並 木 泰 次 深 澤 正 幹 澤 謙 川 謙 細 野 隆 也 野 幸 森 俊 山 本 若 松 渡 邊 憲 廣 夫 尚 夫 康 |
| 2016/11/10 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習⑬: クサ ビ状欠損グラスア イオノマーセメン ト充填 | <p>【授業の一般目標】 クサビ状欠損に対してグラスアイオノマーセメント修復が行えるようになるために、適切な歯面処理とセメント充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. クサビ状欠損部に対する適切な切削ができる。 2. 簡易防湿ができる。 3. 従来型グラスアイオノマーセメント充填ができる。 4. レジン添加型グラスアイオノマーセメント充填ができる。 5. 形態付与ができる。</p> <p>【準備学修項目】 クサビ状欠損の特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡 珠美 田 啓 岩 寿 井 啓 寺 文 中 子 島 光 田 保 智子 久 一 保 聖 大 英 野 二 青 互 野 淳 熱 浩 田 雅 飯 田 泉 宏 田 二 壹 岐 伊 守 東 明 大 基 村 紀 金 杉 村 明 木 大 村 希 庫 直 小 泉 泉 志 高 鹿 志 保 小 美 西 徳 齋 千 藤 春 本 藤 笹 子 本 秀明 塩 道紀 山 杉 道 英 鈴 木 明 秀 須 原 宜 剛 川 幸 剛 士 田 幸 幸 斉 常 田 田 行 富 田 田 秀 富 田 行 秀 並 木 泰 次 深 澤 正 幹 澤 謙 川 謙 細 野 隆 也 野 幸 森 俊 山 本 若 松 渡 邊 憲 廣 夫 尚 夫 康 |
| 2016/11/17 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑭: コン ポジットレジンイ ンレー修復 | <p>【授業の一般目標】 臼歯部欠損修復のうち審美的間接修復が行えるようになるために、コンポジットレジンインレー修復の特徴と術式および窩洞の具備条件と象牙質コーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー修復の特徴と適応症について説明できる。 2. コンポジットレジンインレー修復の術式について説明できる。 3. コンポジットレジンインレー窩洞の特徴について説明できる。 4. レジンコーティング法の目的について説明できる。 5. レジンコーティング法の術式について説明できる。 6. レジンコーティング後の印象採得の注意点について説明できる。 7. レジンコーティング後の適切な仮封材について説明できる。</p> | 神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 2016/11/17 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義②:コン ポジットレジンイ ンレー修復 | <p>【準備学修項目】 審美的間接修復法の種類について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p> | 神谷 直孝 |
| 2016/11/17 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習④:コン ポジットレジンイ ンレー修復 -窩 洞形成・象牙質コー ティング | <p>【授業の一般目標】 臼歯部硬組織欠損をコンポジットレジンインレーで修復するために、適切な窩洞形成と象牙質に対するレジンコーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 2 級コンポジットレジンインレー窩洞の形成ができる。 2. レジンコーティング法ができる。</p> <p>【準備学修項目】 2級窩洞について説明できる。 象牙質・歯髄複合体について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 大村 守 大金 基 杉村 紀明 木村 大 山 希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 徳美 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/11/17 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習④:コン ポジットレジンイ ンレー修復 -印 象採得・咬合採得・ 仮封 | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体を作製するために、コンポジットレジンインレー窩洞の連合印象と咬合採得および仮封について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 2. 咬合採得ができる。 3. 水硬性セメントを用いた仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目】 シリコン印象材の特徴について説明できる。 仮封材の種類とその特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 大村 守 大金 基 杉村 紀明 木村 大 山 希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 徳美 齋藤 千春 笹本 恭子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2016/11/17 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑭:コン ポジットレジンイ ンレー修復 ー印 象採得・咬合採得・ 仮封ー | <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *⑤フックスの種類と特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩仮封の意義、種類および特徴を説明できる。</p> | 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2016/11/24 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑳:コン ポジットレジンイ ンレー修復とセラ ミックインレー修 復の作製法 | <p>【授業の一般目標】 審美的間接修復法を用いた修復が行えるようになるために、その作製方法とそ の特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレーの作製手順について説明できる。 2. セラミックインレー窩洞の特徴について説明できる。 3. セラミックインレー修復の作製法の種類とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 セラミックスの材料学的特性について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説 明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に 使用される素材間の物性比較を含む。】 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特 徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックス の種類、用途および特性を含む。】</p> | 岡田 珠美 |
| 2016/11/24 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑮:コン ポジットレジンイ ンレー修復 ー作 業模型作製ー | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー修復が行えるようになるために、作業模型の作製 について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型の作製ができる。</p> <p>【準備学修項目】 メタルインレー作製時におこなった作業模型作製手順と要点が説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 淳 飯泉 浩雅 飯田 宏二 壹岐 明守 伊東 基守 大村 紀明 金村 大 木村 希 庫山 直也 小泉 志保 小西 美徳 高鹿 千春 齋藤 恭子 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|---|---|
| 2016/11/24 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑩: コンポジットレジンインレー体の作製 | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー窩洞に適合するインレー体を作製するために、材料の特性、コンポジットレジンインレー体の作製手順と解剖学的形態の付与および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー体の作製手順について説明できる。 2. 解剖学的形態を付与したコンポジットレジンインレー体が作製できる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎第一大臼歯の解剖学的特徴を説明できる。 コンポジットレジンインレー用ペーストの特徴について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩仮封の意義、種類および特徴を説明できる。</p> | <p>平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 英互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 大村 明守 大村 基紀 金杉 明 木村 大 山庫 未希 山泉 直也 小高 志保 高鹿 美徳 小西 千春 齋藤 恭子 笹本 秀明 塩 道 山 道明 鈴木 英宜 須原 秀 関根 哲士 田川 剛 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫</p> |
| 2016/12/01 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑭: 接着性レジンセメントと補修修復 | <p>【授業の一般目標】 間接修復法による修復物の接着と補修が行えるようになるために、レジンセメントの種類と特徴および異種材料に対する非着面の処理方法と手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用合着用セメントの種類について説明できる。 2. レジンセメントの種類と組成について説明できる。 3. 無機合着用セメントの組成について説明できる。 4. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 5. 補修修復の適応症について説明できる。 6. 補修修復の術式と器材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯科用合着用セメントの種類と組成について説明できる。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 13 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 エ 金属被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p> | <p>岡田 珠美</p> |
| 2016/12/01 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑰: コンポジットレジンインレー体の接着 | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体の適切な装着操作が行えるようになるために、レジンセメントの操作方法、操作手順、被着面処理および仕上げ研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. レジンインレーの試適・調整について説明できる。 2. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 3. レジンセメントによるレジンインレー体の接着ができる。 4. レジンインレー体装着後の咬合調整と仕上げ研磨ができる。</p> | <p>平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 英互</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|---|
| 2016/12/01 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復実習⑰:コン ポジットレジンイ ンレー体の接着 | 5. 異種材料に対する非着面処理ができる。 6. コンポジットレジンインレーに対する補修修復ができる。 【準備学修項目】 2級インレーの試適・調整手順について説明できる。 レジンインレー体の装着に必要な器材を準備できる。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 3 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 1 4 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 | 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 明守 大村 基 大金 紀明 杉村 大 木村 未希也 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 徳美 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲 田川 士 常田 幸 富久 幸 富田 幸 並木 幸 深澤 幸 澤川 幸 藤川 幸 細野 幸 森 俊幸 山本 憲 若松 尚 渡邊 康夫 |
| 2016/12/01 (木) 4時限 14:40～16:10 | 修復実習⑱:補修 修復 | 【授業の一般目標】 欠損が生じた修復物の補修ができるようになるために、補修修復に用いる処理材と器材および処置手順について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 異種材料に対する接着前処理を行うことができる。 2. コンポジットレジンインレーの補修修復ができる。 3. メタルインレー体に対する補修修復ができる。 【準備学修項目】 異種材料の接着に用いる処理材について説明できる。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 3 歯科接着技術・機器 ウ セラミックス被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 孝美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 野田 英二 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 宏二 壹岐 明守 伊東 基 大村 基 大金 紀明 杉村 大 木村 未希也 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 徳美 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲 田川 士 常田 幸 富久 幸 富田 幸 並木 幸 深澤 幸 澤川 幸 藤川 幸 細野 幸 森 俊幸 山本 憲 若松 尚 渡邊 康夫 |
| 2016/12/08 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑳:歯の 色彩学と積層充填 | 【授業の一般目標】 審美的なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、歯質の測色とコンポジットレジン色彩学的特徴および積層充填法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. シェードテイキングについて説明できる。 2. コンポジットレジン色彩学的特徴について説明できる。 3. 歯の色を測色する方法について説明できる。 4. コンポジットレジン色に関連する要素を説明できる。 5. コンポジットレジン色を考慮した積層法 (レイヤリングテクニック) について説明できる。 【準備学修項目】 歯の構造と色調について説明できる。 【学修場所・媒体等】 | 平山 聡司 関根 哲子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|----------------|
| 2016/12/08 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義㉕: 歯の色彩学と積層充填 | 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 | 平山 聡司 関根 哲子 |
| 2016/12/15 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義㉖: 歯の破折とその対応 | 【授業の一般目標】 歯の破折による硬組織欠損の処置が行えるようになるために、歯冠破折の分類と原因および診断に必要な検査法と処置方針について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠破折の種類、原因について説明できる。 2. 歯冠破折の検査法について説明できる。 3. 歯の破折に対するコンポジットレジン修復による対応について説明できる。 【準備学修項目】 エナメル質、象牙質の正常機能と構造について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 カ 歯の亀裂・破折、脱臼 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。 | 岡田 珠美 |
| 2016/12/22 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義㉗: 回転切削器以外の切削法 | 【授業の一般目標】 回転切削器具以外でう蝕が除去できるようになるために、歯科用レーザー、エアブレイシブおよび薬剤によるう蝕除去方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用レーザーの種類と用途について説明できる。 2. 歯科用レーザーの特徴について説明できる。 3. 歯科用レーザー使用時の注意点について説明できる。 4. エアブレイシブについて説明できる。 5. 薬剤を併用した歯質切削について説明できる。 6. 超音波切削によるう蝕除去方法について説明できる。 【準備学修項目】 回転式切削器械以外の切削法の種類について説明できる。 【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 エ レーザー装置 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 | 岩井 啓寿 |
| 2016/12/22 (木) 3時限 13:00～14:30 | 修復講義㉘: 歯の漂白 | 【授業の一般目標】 生活歯漂白法により変色歯を審美的に改善できるようになるために、変色歯の診断、生活歯漂白法の種類と使用薬物の取扱い方法および術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の変色の原因について説明できる。 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|--|
| 2016/12/22 (木) 3時限 13:00~14:30 | 修復講義⑧: 歯の漂白 | <p>2. テトラサイクリン変色歯の分類について説明できる。 3. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 4. 漂白法に用いる薬剤の組成について説明できる。 5. オフィスブリーチの術式を説明できる。 6. ホームブリーチの術式を説明できる。 7. 生活歯漂白の問題点について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯の変色の種類と原因について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 オ 歯の変色・着色</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 キ 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2016/12/22 (木) 4時限 14:40~16:10 | 修復実習⑨: 変色歯の漂白と歯科用レーザーによる歯質切削 | <p>【授業の一般目標】 変色歯に対する審美的改善と歯科用レーザーによる歯質の切削が行えるようになるために、生活歯漂白法の術式と使用器材およびEr:YAGレーザーの使用方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 結紮法による多数歯ラバーダム防湿を実施できる。 2. オフィスブリーチの術式が説明できる。 3. ホームブリーチの術式が説明できる。 4. 漂白処置後の患者説明ができる。 5. Er:YAGレーザーで歯質切削に必要な条件を説明できる。 6. Er:YAGレーザーの安全な取り扱いについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ラバーダム防湿法が実施できる。 生活歯漂白に必要な器材を準備できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 キ 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熟田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏 伊東 哲明 大村 基守 大村 金杉 木村 紀明 庫山 大 小泉 希也 高鹿 直志 齋藤 保徳 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 森 俊幸 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2017/01/12 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑨: 象牙質知覚過敏症とその処置方針 | <p>【授業の一般目標】 象牙質知覚過敏症の診断と処置ができるようになるために、症状の原因と特徴、診断に必要な検査および適切な処置方針と使用薬物について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 象牙質知覚過敏症の特徴について説明できる。 2. 象牙質知覚過敏症の原因について説明できる。 3. 象牙質知覚過敏症の診断に必要な検査について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の処置方針が立案できる。 5. 象牙質知覚過敏症の治療に用いる薬物の効果について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 象牙質の構造について 歯の知覚機序について</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------|--|--|
| 2017/01/12 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑳:象牙質知覚過敏症とその処置方針 | <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 象牙質知覚過敏症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療 *①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 ②象牙質知覚過敏症を適切に処置できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2017/01/19 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義㉑:審美的直接・間接修復法まとめ講義 | <p>【授業の一般目標】 審美的な直接および間接修復法による歯硬組織欠損処置が行えるようになるために、修復法の術式とその要点および処置に必要な器具器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジン修復の臨床術式について説明できる。 2. コンポジットレジン修復に用いる器具器材について説明できる。 3. コンポジットレジン修復の予後について説明できる。 4. コンポジットレジンインレー修復の臨床術式について説明できる。 5. セラミックインレー修復の臨床術式について説明できる。 6. 審美的間接修復法の装着に用いる器具器材について説明できる。 7. 審美的間接修復法の予後について説明できる。 8. セラミックインレーの補修復手順について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 コンポジットレジン修復について説明できる。 コンポジットレジンインレー修復について説明できる。 セラミックインレー修復について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室、スライド、黒板、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 カ 補修復</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑫修復後の管理の目的と方法を説明できる。 ⑬修復後の適切なメンテナンスができる。</p> | 平山 聡司 |
| 2017/01/26 (木) 2時限 10:40~12:10 | 実習口頭試問② | <p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲: 修復実習⑦~⑱までの範囲</p> <p>【準備学修項目】 修復実習⑧~⑳までの範囲を復習しておく。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 田久保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 宏 大村 哲明 大村 基守 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------|--|--|
| 2017/01/26 (木) 2時限 10:40~12:10 | 実習口頭試問② | <p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習⑦～⑯までの範囲</p> <p>【準備学修項目】 修復実習⑧～⑳までの範囲を復習しておく。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 金杉 紀明 木村 大希 庫山 直也 小泉 志保 高鹿 徳志 小西 美春 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 士 常田 幸 富田 幸 富田 幸 並木 行 深澤 泰次 藤川 幹次 細野 謙次 森 隆也 山本 俊幸 若松 憲 渡邊 尚 渡邊 吾夫 渡邊 康 |
| 2017/01/26 (木) 3時限 13:00~14:30 | 実習口答試問② | <p>【授業の一般目標】 口答試問の範囲：修復実習⑦～⑯までの範囲</p> <p>【準備学修項目】 修復実習⑧～⑳までの範囲を復習しておく。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 平山 聡司 神谷 孝美 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺井 文子 中島 光 田保 智子 大塚 一聖 青野 英二 熱田 淳 飯田 雅 飯田 浩二 壹岐 宏明 伊東 哲守 大村 基 金杉 紀明 木村 大希 庫山 直也 小泉 志保 高鹿 徳志 小西 美春 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 士 常田 幸 富田 幸 富田 幸 並木 行 深澤 泰次 藤川 幹次 細野 謙次 森 隆也 山本 俊幸 若松 憲 渡邊 尚 渡邊 吾夫 渡邊 康 |
| 2017/02/02 (木) 2時限 10:40~12:10 | 平常試験 保存修復④ | <p>【授業の一般目標】 修復平常試験④の範囲：修復講義⑳～㉔までの範囲</p> <p>【準備学修項目】 修復講義⑳～㉔までの範囲を復習しておく。</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> | 平山 聡司 神谷 孝美 岡田 珠美 岩井 啓寿 |

歯内療法学

| | | |
|-----|----|--------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 松島 潔 (歯内療法学) |

| | |
|--------------------------|--|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | う蝕の進行あるいは外傷によって歯の中心に存在している歯髄（軟組織：いわゆる歯の神経）に疾患（主に歯髄炎）がおよぶようになる。また、生活力を失った歯髄は、根尖の歯周組織に新たな疾患を引き起こす。疾患に陥った歯髄を健康に回復あるいは歯髄を除去する処置、失活によって引き起こされた根尖の歯周組織の疾患を治癒し、歯の維持を図ることを目的とした学問である。歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。 |
| 担当教員 | 松島 潔、辻本 恭久、川島 正、岡部 達、神尾 直人、小塚 昌宏、吉田 陽子、馬場 俊晃、齊藤 梨紗、染谷 ひとみ、※相浦 誠一郎、※伊澤 真人、※上田 幾大、※大林 英美、※喜多 詔 規雄、※五味 博之、※斎藤 一央、※酒井 きよ美、※塩沢 督、※高瀬 俊彦、※高橋 知多香、※田中 みどり、※塚田 典功、※寺澤 秀朗、※富田 敬、※中嶋 真樹、※中沼 邦欣、※長島 潔、※久松 弘幸、※細谷 史規、※三浦 孝司、※村上 芳弘、※本木 平和、※山浦 賀弘 |
| 教科書 | 歯内治療学 第4版 中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史 医歯薬出版 Endodontics Manual (歯内療法実習マニュアル) 松島潔、辻本恭久、他 歯内療法学 |
| 参考図書 | エンドドンティクス 第4版 須田英明、中村洋 他 永末書店 |
| 評価方法 (EV) | 歯内講義 (60%) : 平常試験①～④、歯内実習 (40%) : 実習筆記試験、実技試験 (2回)、レポート、実習態度の総合評価 平常試験は、原則的に追試験を行いません。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|------|
| 2016/04/01 (金) 3時限 13:00~14:30 | 歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *④歯髄の構造と機能を説明できる。</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|---|------|
| 2016/04/01 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髓の構造と機能 | E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髓・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 | 松島 潔 |
| 2016/04/01 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髓の構造と機能 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髓の形態を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髓の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髓の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髓複合体 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 6 歯髓・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髓保存療法 ウ 歯髓除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髓・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 | 松島 潔 |
| 2016/04/08 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義②：歯内療法で扱う疾患 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓疾患および根尖歯周疾患を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髓疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。 【準備学修項目】 歯の構造を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髓・根尖歯周組織 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 5 成人の歯髓・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髓疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|------|
| 2016/04/08 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義②：歯内療法で扱う疾患 | <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髓・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/04/08 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義②：歯内療法で扱う疾患 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髓疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髓・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 5 成人の歯髓・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髓疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髓・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/04/15 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義③：歯髓疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓疾患、根尖歯周疾患の病理変化を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髓炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髓・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|-------|
| 2016/04/15 (金) 3時限 13:00~14:30 | 歯内講義③: 歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化 | 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/04/15 (金) 4時限 14:40~16:10 | 歯内講義③: 歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周炎の病理変化を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髄炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 【準備学修項目】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖性歯周組織 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/05/13 (金) 3時限 13:00~14:30 | 歯内講義④: 歯髄疾患、根尖性歯周炎の原因 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周炎の原因を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【準備学修項目】 口腔内細菌を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 | 神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|---|-------|
| 2016/05/13 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因 | *⑥歯痛の機序を説明できる。 | 神尾 直人 |
| 2016/05/13 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 口腔内細菌を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p> | 神尾 直人 |
| 2016/05/20 (金) 3時限 13:00～14:30 | 平常試験 歯内療法① | <p>【授業の一般目標】 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【準備学修項目】 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 |
| 2016/05/27 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑤：歯内療法学と基礎医学 | <p>【授業の一般目標】 歯髄疾患、根尖歯周疾患を理解するために、基礎医学との関連を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯内療法学の基礎となる解剖、組織、病理学、細菌学を復習し、理解する。</p> <p>【準備学修項目】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 オ セメント質 キ 歯根膜 <歯周靭帯></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|---|------|
| 2016/06/03 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑥：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 2. ②歯髄炎の進展の特徴を説明できる。 3. ③象牙質知覚過敏症と歯髄炎の違いを説明できる。 4. ④根尖性歯周炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ・疼痛の伝達を説明できる。 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 象牙質知覚過敏症 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/06/03 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑥：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 2. ②歯髄炎の進展の特徴を説明できる。 3. ③象牙質知覚過敏症と歯髄炎の違いを説明できる。 4. ④根尖性歯周炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ・疼痛の伝達を説明できる。 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 象牙質知覚過敏症 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/06/10 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法） | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|------|
| 2016/06/10 (金) 3時限 13:00~14:30 | 歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法） | <p>一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/06/10 (金) 4時限 14:40~16:10 | 歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法） | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/06/17 (金) 3時限 13:00~14:30 | 歯内講義⑧：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法） | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 2. ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 3. ③抜髄法の適応症、術式を説明できる。 4. ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 5. ⑤除痛法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|------|
| 2016/06/17 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑧：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法） | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/06/17 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑧：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法） | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 2. ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 3. ③抜髄法の適応症、術式を説明できる。 4. ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 5. ⑤除痛法について説明できる。 【準備学修項目】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/06/24 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑨：根尖性歯周炎の臨床（感染根管治療） | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。 【準備学修項目】 一般炎症の兆候を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2016/06/24 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑨：根尖性歯周炎の臨床（感染根管治療） | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。 | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|-------|
| 2016/06/24 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑨：根尖性歯周炎の臨床(感染根管治療) | <p>【準備学修項目】 一般炎症の兆候を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2016/07/01 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑩：歯内療法の原則 | <p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置および予防を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/07/01 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑩：歯内療法の原則 | <p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|-------|
| 2016/07/01 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑩：歯内療法 の原則 | <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/07/08 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑪：抜髄 と感染根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管拡大の意義を説明できる。 2. ②歯内療法の適応を選択できる。 3. ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 4. ④感染根管の成立について説明できる。 5. ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 6. ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/07/08 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑪：抜髄 と感染根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管拡大の意義を説明できる。 2. ②歯内療法の適応を選択できる。 3. ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 4. ④感染根管の成立について説明できる。 5. ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 6. ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------|---|---------------|
| 2016/07/08 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑩：抜髄と感染根管治療 | <p>黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/07/15 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑫：今までのまとめ | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的事項を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.①歯内療法の基本的な診断、術式の流れを説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 今までに学んだ事項について、理解できたこと、理解できないことを整理しておくこと</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 ス 顕微鏡を用いた歯内療法 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2016/07/15 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑫：今までのまとめ | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的事項を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.①歯内療法の基本的な診断、術式の流れを説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|---------------|
| 2016/07/15 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑫：今までのまとめ | <p>今までに学んだ事項について、理解できたこと、理解できないことを整理しておくこと</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 ス 顕微鏡を用いた歯内療法 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2016/09/09 (金) 3時限 13:00～14:30 | 歯内平常試験②： 歯内講義⑤～⑫の 範囲（記述式試験） | <p>【学修場所・媒体等】 筆記（記述式）試験</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2016/09/09 (金) 4時限 14:40～16:10 | 歯内平常試験②： 歯内講義⑤～⑫の 範囲（記述式試験） | <p>【学修場所・媒体等】 筆記（記述式）試験</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2016/09/28 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑬：歯内 療法の基本概念と 基本操作 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作できる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④根管洗浄の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|-------|
| 2016/09/28 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑬：歯内療法の基本概念と基本操作 | <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/09/28 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯内講義⑬：歯内療法の基本概念と基本操作 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作できる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④根管洗浄の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/09/28 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑬：歯内療法の基本概念と基本操作 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作できる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④根管洗浄の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|---|---|
| 2016/09/28 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内講義⑬：歯内療法の基本概念と基本操作 | E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 | 辻本 恭久 |
| 2016/10/05 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑭：根管形成・洗浄、根管充填 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管形成・洗浄、根管充填を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①根管拡大、形成の目的を説明できる。 2. ②根管形成の術式を説明できる。 3. ③根管洗浄を説明できる。 4. ④根管充填の目的を説明できる。 5. ⑤根管充填の時期を説明できる。 6. ⑥根管充填法の種類を説明できる。 7. ⑦根管充填材(剤)について説明できる。 8. ⑧根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。 【準備学修項目】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 | 辻本 恭久 |
| 2016/10/05 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習②：歯内療法の基本概念 (2) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①根管形成の概念を説明できる。 2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。 【準備学修項目】 歯内療法の基本的な器具操作ができる。 根管拡大の概念を説明できる。 【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 みどり 塚 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 山浦 平和 賀弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|---|---|
| 2016/10/05 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習②: 歯内療法の基本概念 (2) | E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 田澤 典功 寺富 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 村上 孝司 本上 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2016/10/05 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習②: 歯内療法の基本概念 (2) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①根管形成の概念を説明できる。 2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。 【準備学修項目】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。 【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 田澤 典功 寺富 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 村上 孝司 本上 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2016/10/12 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑮: 根管充填 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管充填を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①根管充填法の種類を説明できる。 2. ②種々の根管充填法による利点を説明できる。 3. ③根管充填材 (剤) を説明できる。 4. ④根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。 【準備学修項目】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【学修場所・媒体等】 黒板、スライド | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|---|
| 2016/10/12 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑮：根管充填 | <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/10/12 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習③：歯髄の保護 (歯髄保存療法) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 馬場 誠 鈴木 梨紗 齋藤 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/10/12 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習③：歯髄の保護 (歯髄保存療法) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 馬場 誠 鈴木 梨紗 齋藤 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|---|---|
| 2016/10/12 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習③: 歯髄の保護 (歯髄保存療法) | <p>*①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p> <p>*③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 相浦 ひとみ 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 喜多 規 五味 博之 斎藤 央 酒井 一 塩 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 功 塚田 典 寺澤 秀 富田 朗 中嶋 真樹 中沼 邦 長島 潔 久松 弘 細谷 史 村上 孝 本上 芳 山浦 平 賀弘 |
| 2016/10/19 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑩: 歯内療法の特種療法 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、特種な療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①イオン導入法について説明できる。 2. ②顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 3. ③新しい歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/10/19 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習④: 下顎小臼歯 (人工歯)の感染根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎小臼歯の形態を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 相浦 ひとみ 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 喜多 規 五味 博之 斎藤 央 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--|
| 2016/10/19 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習④：下顎 小白歯（人工歯） の感染根管治療 | <p>歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | きよ美 督彦 香多 知みどり 典功 秀朗 敬樹 真樹 邦欣 潔弘 幸規 史司 孝芳 弘平 賀弘 酒井 塩高 瀬橋 田中 塚田 寺澤 富田 中嶋 長島 久松 細谷 村上 本木 山浦 |
| 2016/10/19 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習④：下顎 小白歯（人工歯） の感染根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小白歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 潔久 正達 直人 昌宏 陽子 俊晃 誠 梨紗 ひとみ 誠一郎 真人 幾大 英美 喜多 規雄 博之 一央 きよ美 督彦 香多 知みどり 典功 秀朗 敬樹 真樹 邦欣 潔弘 幸規 史司 孝芳 弘平 賀弘 松島 辻本 川島 岡部 神尾 小塚 馬場 鈴木 齊藤 染谷 相浦 伊澤 上田 大林 喜多 五味 齋藤 酒井 塩高 瀬橋 田中 塚田 寺澤 富田 中嶋 長島 久松 細谷 村上 本木 山浦 |
| 2016/10/26 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑦：新しい 歯内療法 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、最新の歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①Ni-Tiファイルを用いた根管治療を説明できる。 2. ②Ni-Tiファイルの特徴を説明できる。 3. ③顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|--|
| 2016/10/26 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑩:新しい歯内療法 | <p>【準備学修項目】 根管治療の流れを説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/10/26 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑤:上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/10/26 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑤:上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|---|
| 2016/10/26 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑤:上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療 | <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p> | 富田 敬 中嶋 真樹 沼島 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝弘 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/11/02 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑧:外傷歯の歯内療法 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外傷歯に対する歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.①受傷した歯の状態を説明できる。 2.②受傷した歯に対する歯内療法の対応を説明できる。 3.③歯根破折の原因と予防を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 外傷歯の原因を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 コ 外傷歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4-(2) 外傷 *④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p> | 川島 正 |
| 2016/11/02 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑥:上下顎前歯(人工歯)の根管充填・細菌検査 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.①根管形成後の形態を説明できる。 2.②根管形成ができる。 3.③マスターポイントの試適ができる。 4.④根管充填ができる。 5.⑤細菌検査の目的を説明できる。 6.⑥細菌検査ができる。 7.⑦細菌検査を評価できる。 8.⑧根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 宏 吉田 昌 馬場 陽子 鈴木 俊晃 齊藤 誠 藤原 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 敬 中嶋 真樹 沼島 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝弘 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|---|---|
| 2016/11/02 (水) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑥：上下顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌検査 | <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼田 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平賀 |
| 2016/11/02 (水) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑥：上下顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌検査 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①根管形成後の形態を説明できる。 2. ②根管形成ができる。 3. ③マスターポイントの試適ができる。 4. ④根管充填ができる。 5. ⑤細菌検査の目的を説明できる。 6. ⑥細菌検査ができる。 7. ⑦細菌検査を評価できる。 8. ⑧根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼田 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平賀 |
| 2016/11/09 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内平常試験③：歯内講義⑬~⑰の範囲 (記述式試験) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内講義⑬~⑰の内容を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯内講義⑬の内容を説明できる。 2. 歯内講義⑭の内容を説明できる。 3. 歯内講義⑮の内容を説明できる。 4. 歯内講義⑯の内容を説明できる。 5. 歯内講義⑰の内容を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2016/11/09 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内平常試験③: 歯内講義⑬～⑱の 範囲 (記述式試験) | 6. 歯内講義⑱の内容を説明できる。 【準備学修項目】 歯内講義⑱～⑲の範囲の内容を説明できる。 【学修場所・媒体等】 筆記試験 (記述式) 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 コ 外傷歯の治療 ス 顕微鏡を用いた歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 |
| 2016/11/09 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習⑦: 単根 歯 (天然歯) の感 染根管治療・根管 充填 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。 【準備学修項目】 歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 直人 神尾 昌宏 小塚 陽子 吉田 俊晃 馬場 誠 鈴木 梨紗 齊藤 ひとみ 染谷 誠一郎 相浦 真人 伊澤 幾大 上田 英美 大林 規雄 喜多 博之 五味 一央 斎藤 きよ美 酒井 督 塩沢 俊彦 高瀬 知多 高橋 みどり 田中 典功 塚澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦 長島 潔 久松 弘 久松 史規 細三 孝司 村上 芳弘 山浦 平賀 |
| 2016/11/09 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑦: 単根 歯 (天然歯) の感 染根管治療・根管 充填 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。 【準備学修項目】 歯の形態を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 直人 神尾 昌宏 小塚 陽子 吉田 俊晃 馬場 誠 鈴木 梨紗 齊藤 ひとみ 染谷 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--|
| 2016/11/09 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑦: 単根歯(天然歯)の感染根管治療・根管充填 | 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 | 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 多 田中 知 塚田 香 澤田 み 寺澤 功 富田 秀 中嶋 敬 中沼 樹 長島 邦 久松 潔 久谷 弘 細谷 幸 三浦 規 上村 孝 本芳 司 山平 和 山賀 弘 |
| 2016/11/16 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内実習筆記試験 : 歯内療法学実習 で学んだ事項 | 【学修場所・媒体等】 筆記試験(記述式) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻 恭久 本島 正 岡部 達 神尾 直人 |
| 2016/11/16 (水) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習⑧: 実技 試験 | 【準備学修項目】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。 【学修場所・媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻 恭久 本島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌 吉田 陽 馬場 子 馬場 晃 鈴木 俊 齊藤 誠 藤谷 梨 染谷 紗 相浦 ひと 伊澤 誠 澤田 一 上田 幾 大林 大 大喜 多 五味 博 斎藤 一 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 多 田中 知 塚田 香 澤田 み 寺澤 功 富田 秀 中嶋 敬 中沼 樹 長島 邦 久松 潔 久谷 弘 細谷 幸 三浦 規 上村 孝 本芳 司 山平 和 山賀 弘 |
| 2016/11/16 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑧: 実技 試験 | 【準備学修項目】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。 【学修場所・媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻 恭久 本島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌 吉田 陽 馬場 子 馬場 晃 鈴木 俊 齊藤 誠 藤谷 梨 染谷 紗 相浦 ひと 伊澤 誠 澤田 一 上田 幾 大林 大 大喜 多 五味 博 斎藤 一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|---|
| 2016/11/16 (水) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑧：実技試験 | <p>【準備学修項目】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 酒井 美香 塩沢 俊彦 高瀬 知多 高橋 みどり 田中 功典 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 真樹 中嶋 邦欣 中沼 潔 長島 弘幸 久松 史規 細谷 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/11/30 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義⑩：外科的歯内療法 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外科的歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①外科的歯内療法の意義を説明できる。 2. ②外科的歯内療法の種類を説明できる。 3. ③外科的歯内療法の適応を説明できる。 4. ④外科的歯内療法を応用する理由を説明できる</p> <p>【準備学修項目】 歯根、根管、歯周組織の構造を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 シ 外科的歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *⑥歯内外科手術の種類と適応症を説明できる。</p> | 和田 守康 長濱 文雄 |
| 2016/12/07 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義⑩：再根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、再根管治療に至る原因とその処置法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①再根管治療の適応を説明できる。 2. ②再根管治療に至る原因を説明できる。 3. ③再根管治療の問題点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ク 再根管治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2016/12/08 (木) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習⑨：上顎小白歯の根管治療(1) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小白歯のアクセスオープニングができる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 昌宏 小塚 昌宏 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 2016/12/08 (木) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑨：上顎 小臼歯の根管治療 (1) | <p>2. ②上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 3. ③上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 藤谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/12/08 (木) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑨：上顎 小臼歯の根管治療 (1) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①上顎小臼歯のアクセスオープンニングができる。 2. ②上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 3. ③上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 藤谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/12/14 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯内講義⑫：歯内 療法後の歯の修復 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法後の歯の修復を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法後の修復の臨床的意義を説明できる。 2. ②歯内療法後の修復の臨床的特徴を説明できる。 3. ③歯内療法後の歯の機能回復の問題点を説明できる。 4. ④歯内療法後の歯の機能回復の注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | 岡部 達 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|---|
| 2016/12/14 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義②①：歯内療法後の歯の修復 | <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ソ 根管処置後の歯冠修復</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p> | 岡部 達 |
| 2016/12/15 (木) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習⑩：上顎小白歯の根管治療(2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上顎小白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3 - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/12/15 (木) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑩：上顎小白歯の根管治療(2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上顎小白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3 - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2016/12/21 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義②②：歯内療法における偶発事故の予防と処置 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法中の偶発事故を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法時に起こりうる偶発症の種類を説明できる。 2. ②歯内療法時に起こりうる偶発症への対応を説明できる。 3. ③歯内療法時に起こりうる偶発症への防止法を説明できる。</p> | 神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|--|
| 2016/12/21 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義②：歯内療法における偶発事故の予防と処置 | <p>【準備学修項目】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p> | 神尾 直人 |
| 2017/01/11 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義③：根管の形態 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管の形態を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①詩趣別の根管の形態を図示し、説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2017/01/12 (木) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習⑩：上顎大白歯の根管治療(1) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎大白歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大白歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学修項目】 上顎大白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 村本 芳弘 山浦 平和 賀弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2017/01/12 (木) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑩：上顎 大臼歯の根管治療 (1) | E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査 法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達直 神尾 昌宏 小塚 陽子 吉馬 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚 功 田 典 寺澤 秀 富田 朗 中嶋 敬 中嶋 真樹 沼沼 邦 長島 欣 久松 潔 細谷 弘 村上 幸 本 史 山 規 浦 司 芳弘 平和 賀弘 |
| 2017/01/12 (木) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑩：上顎 大臼歯の根管治療 (1) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大臼歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学修項目】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【学修場所・媒体等】 人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査 法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達直 神尾 昌宏 小塚 陽子 吉馬 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚 功 田 典 寺澤 秀 富田 朗 中嶋 敬 中嶋 真樹 沼沼 邦 長島 欣 久松 潔 細谷 弘 村上 幸 本 史 山 規 浦 司 芳弘 平和 賀弘 |
| 2017/01/18 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯内平常試験④： 歯内講義⑬～⑳の 範囲の筆記 (記述 式) 試験 | 【学修場所・媒体等】 筆記 (記述式) 試験 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻本 恭久 岡部 達直 神尾 直人 |
| 2017/01/19 (木) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑫：上顎 大臼歯の根管治療 (2) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| | 歯内実習⑫：上顎 大白歯の根管治療 (2) | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上顎大白歯の根管充填ができる。 ②下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 ③下顎大白歯の根管口明示ができる。 ④下顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 <p>【準備学修項目】</p> <p>下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | 岡部 達人 神尾 直人 小塚 昌宏 吉馬 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 央美 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 功 田中 典 寺澤 秀 富田 朗 中嶋 真樹 長邦 邦 久松 欣 細谷 弘 村上 幸 上本 規 山浦 司 芳弘 平和 賀和 |
| 2017/01/19 (木) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑫：上顎 大白歯の根管治療 (2) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上顎大白歯の根管充填ができる。 ②下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 ③下顎大白歯の根管口明示ができる。 ④下顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 <p>【準備学修項目】</p> <p>下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達人 神尾 直人 小塚 昌宏 吉馬 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 央美 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 功 田中 典 寺澤 秀 富田 朗 中嶋 真樹 長邦 邦 久松 欣 細谷 弘 村上 幸 上本 規 山浦 司 芳弘 平和 賀和 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 2017/01/19 (木) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑫：上顎 大臼歯の根管治療 (2) | E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 相浦 ひとみ 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 大喜 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 塚中 香 田中 みどり 寺澤 功 富田 秀朗 中嶋 敬 中嶋 樹 沼田 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 村上 孝司 本上 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2017/01/26 (木) 4時限 14:40~16:10 | 歯内実習⑬：下顎 大臼歯の根管治療 (1) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 相浦 ひとみ 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 大喜 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 塚中 香 田中 みどり 寺澤 功 富田 秀朗 中嶋 敬 中嶋 樹 沼田 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 村上 孝司 本上 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2017/02/02 (木) 3時限 13:00~14:30 | 歯内実習⑭：下顎 大臼歯の根管治療 (2) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齋藤 梨紗 相浦 ひとみ 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 大喜 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 2017/02/02 (木) 3時限 13:00～14:30 | 歯内実習⑭：下顎 大臼歯の根管治療 (2) | <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | <p>高瀬 彦多香 高橋 知みどり 田中 典功 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 真樹 中嶋 邦欣 中沼 潔 長島 弘幸 久松 史規 細谷 孝司 三浦 芳弘 村上 平和 山本 賀弘</p> |
| 2017/02/02 (木) 4時限 14:40～16:10 | 歯内実習⑭：下顎 大臼歯の根管治療 (2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p> | <p>松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 尾塚 昌宏 小塚 陽子 吉田 俊晃 馬場 誠 鈴木 梨紗 大藤 ひとみ 谷本 誠一郎 相浦 真 伊澤 人 上田 幾 大林 英美 喜多 規雄 味博 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦多香 高橋 知みどり 田中 典功 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 真樹 中嶋 邦欣 中沼 潔 長島 弘幸 久松 史規 細谷 孝司 三浦 芳弘 村上 平和 山本 賀弘</p> |
| 2017/02/08 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内実習⑮：実習 実技試験 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | <p>松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 尾塚 昌宏 小塚 陽子 吉田 俊晃 馬場 誠 鈴木 梨紗 大藤 ひとみ 谷本 誠一郎 相浦 真 伊澤 人 上田 幾 大林 英美 喜多 規雄 味博 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦多香 高橋 知みどり 田中 典功 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 真樹 中嶋 邦欣 中沼 潔 長島 弘幸 久松 史規 細谷 孝司 三浦 芳弘 村上 平和 山本 賀弘</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------|---|---|
| 2017/02/08 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内実習⑮：実習 実技試験 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 | 山浦 賀弘 |
| 2017/02/08 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内実習⑮：実習 実技試験 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 小塚 昌宏 吉田 陽子 馬場 俊晃 鈴木 誠 齊藤 梨紗 藤谷 誠 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 藤井 一央 酒井 美 塩 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 中田 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 細谷 史規 三浦 孝司 本村 芳弘 山本 平和 山浦 賀弘 |